

平成23年度 第10回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 「また訪ねたい街・川越」 に向けて～



日時：平成23年11月21日(月)

午後6時00分～7時30分

場所：本庁舎7階 第一委員会室

## 参加者

市内の旅行業者、旅館業者の皆さん 16名

## オブザーバー

社団法人小江戸川越観光協会専務理事

## 出席者

市長、宍戸副市長、市長秘書、市民部長、産業観光部長、観光課長

## 意見数

分類	件数	内容	頁
都市基盤・生活基盤	3	川越駅東口駅前の花壇	4
		夜の街並み景観	4
		一番街の歩行者天国	4
産業・観光	39	店舗の閉店時間	5
		ライトアップ	5
		路地の活用	5
		川越のブランド力	5
		活気のある路地	5
		老舗デパートとのタイアップ	5
		川越のホテルの現状	7
		宿泊観光客	7
		老舗旅館・料亭	7
		伝統芸能の復活	7
		若者の流行	8
		着物の日を大きい波に	10
		観光資源	10
		観光客の滞在時間	11
		観光バスの待機場所	11
団体客の食事場所	12		
昼食の料金設定	13		
小江戸蔵里の活用	14		

分 類	件数	内 容	頁
産 業 ・ 観 光		料亭の活用	15
		観光客の現状	16
		観光客誘致の補助金制度	16
		地元企業とのパッケージツアー	16
		リピーターへの特典	16
		観光アンケート調査	17
		川越市の観光について検討する場の設置	17
		学生旅行の受け入れ	17
		観光客の効果	19
		観光客の満足度	19
		着地型旅行の商品づくり	21
		行政とタイアップした地元業者だけの商品	21
		ミシュランガイド	21
		川越を使った観光商品	22
		観光商品を販売しやすい環境づくり	22
		観光における交流・体験	24
		川越の知名度	24
		関東エリアへの情報発信	24
		川越の景気の現状	24
		観光客のお土産	25
	遠足の昼食場所	25	
環 境	1	川越駅東口の喫煙所	4
計	43		

## 意見交換（要約）

社団法人小江戸川越観光協会専務理事 皆さん、こんばんは。観光協会の中林と申します。私は、今年の4月から観光協会のほうに就任をさせていただいて、半年ちょっとたったところでございます。

皆さんは「また訪ねたい街・川越」のさまざまな企画を行っていると思いますけれども、皆さんのご意見をいろいろお伺いしながら、そういう施策をブラッシュアップして、活性化をしていけば、この川越の観光というのはまだまだ伸びる余地がたくさんあるというふうに私は思っておりますので、本日はいろいろなご意見を拝聴させていただきながら、一緒に頑張っていきたいというふうに思っております。何とぞよろしくお願い申し上げます。

川合市長 シャベリにくかったら、私のほうからお話させていただきます。

実はこの間、11月の初めだったと思うのですが、中核市サミットというのが和歌山市でございまして、そこへ行った時に、和歌山県の湯浅町というところと、帰りに滋賀県の近江八幡市に、両方とも重要伝統的建造物群保存地区のある街ですが、行って見てきました。

それから今年の夏には、8月だったと思いますが、女房と一緒に思い立って秋田県の角館に、今は仙北市というところですが、昔の大きい武家屋敷が残っている角館へ行って見てきました。そこもやっぱり重要伝統的建造物群保存地区になっているところですが、いずれも規模や残っているものを見ると、すばらしい観光資源がいっぱいあるという印象を抱いたのですが、ただウィークデーに行ったせいかわかりませんが、やっぱり人がぱらぱらなんですよね。近江八幡も、すばらしい昔のままの景観が整備されて残っているのに、こんなに人が少なくては大変だろうなと思って帰ってきたのですが、それを思うと川越は、ウィークデーも観光の人が来てくれていて随分違うなという、この違いは何だろうということを考えてみたら、やっぱり大都会に近いということが一番大きいのかなと、気軽に来られて、ちょっとレトロな雰囲気味わえる街という、そんな位置づけになっているのかしらというようなことを考えているのですが、何度も気軽に来てもらうためには、それなりの工夫をこちらでもどんどんしていかなければいけないのかなと、そんな印象を抱いているところですね。

これは私の感想ですが、皆様方が川越の蔵造りの街並みといったものに対してどうというような印象やご意見を持っているか、あるいはそれをどういうふうに活用したら

いいのか、ご提言などがありましたらぜひ出していただけたらと思います。別にそういう方向の話でなくても一向に構いませんけれども。

《川越駅東口駅前の花壇、川越駅東口の喫煙所、夜の街並み景観、一番街の歩行者天国》

意見 川越駅の東口を出たところに花壇がありますけれども、あの花壇はきれいじゃないんですよね。何か市長さんに代わってからきれいじゃないってことになりますけど。ほったらかしで、今もちょっとチェックをしてきたんですけど、まだ夏の花があったりして、もうちょっと花壇を四季折々の草花で飾って欲しいと思います。やっぱり花のある、「華のある」まちづくりをして欲しいなと思います。

さらに言えば、川越駅をおりて真ん前にたばこを吸うところがあって、ちょっとみっともない感じなんですよね。ですからもうちょっとたばこを吸う人が見えないような感じのところに移動したらどうかなって思います。ちょうど橋の真ん中で皆さんたばこを吸って、さっきもチェックに行ったら、暗い中で大勢吸ってるんですよね。だからあれはちょっとみっともない、川越に来たら真ん前がたばこではみっともないと思っているんです。ただこれは私の考えなんですけれども。

あともう一つは、蔵の街並みのところの街路灯がとても美しい。お店が4時半ごろ閉まっちゃって、お客様が来てこれから行きたいと言われると、お店は閉まっちゃってますけど、夜の蔵の街並みはとても素敵なので、行ってらしたらいかがですかということによくご案内します。私も、たまたまこの間、お客様が行きたいというのでちょっとご案内したら、ちょっとの時間きりいかなかったのですが、すごく喜んでいました。

そこで、12月、1月というのはやっぱり寒い時期なので、昔、あんどんか何かをやってましたよね。1年ぐらいしかやってなかったのですが、またああいうのを復活してやったらいかがかなと思っています。

川合市長 夜の一番街はなかなか絵になりますよね。

意見 とても素晴らしい。特に雨が降った日なんかはすごく素敵なんですよね。ですからあれを何か観光にできないのかなとか思いつつ、お店が閉まっちゃうのが惜しいけど、でも逆に閉まっちゃったのがいいんですよね。何も無いのがいいんですね。

川合市長 そうですね。人通りがほとんどなくなって、ずっと明かりが点々とつながっている感じがすごくいいですよ。

意見 いいですよ。昼間は車が通っていて危ないし、素敵なんだけれども、ちょっと残念ですよ。だからあそこも、歩行者天国もいろいろあるんでしょうけれども、でもクリアモールだって歩行者天国なんだから、どうなんだろうな、それでも皆さん

我慢してお店やっているのだから、一番街だって、曜日を決めてやったらいかがですかね。そんな感じを持ちました。

#### 《店舗の閉店時間、ライトアップ》

意見 今、旅館組合の方でしたね。やはり川越には、もともとは商業の街なんですけれども、旅館とか、あと料亭もありますよね。どちらかというとな商業、観光というのは、本来は夜にお客さんがあると潤う業務ではないのかな、それ以外にも飲むところ、食べる場所ですよ。それで、今言ったように、川越はどうしてこんなに夜が早いのかなということをつくづく思いますよね。

大震災以降、電力の節減ということがあって、ライトアップというのがどうかなということがあるんだけど、川越はさっきも言いましたように時の鐘とか、りそな銀行がこの間ブルーにライトアップしてましたね。あと、その付近にも、例えば商工会議所とか、あと私の会社が入っている旧山吉デパートのところとか、幾つかライトアップできる場所があるんですね。そこで夜に呼び込むというキャンペーンをすれば、今電力のこともあって、ほかはなかなかそれこそできないからこそ非常に有効ではないのかなと思います。

特に観光の特性としてシーズンオフ、この冬の時期、これは逆に言えば夜が早いんですよ。5時でももう真っ暗なので、お客さんはまだ滞留時間というのはあるんですね、暗くても。そこでやはりライトアップして、川越のまた新しいそういったところを見せるというのが、これからのやるべきことじゃないのかなというふうに思いますので、ぜひそういったことも考慮されていただければなというふうに思います。

#### 《路地の活用》

意見 先ほど歩行者天国ということで、一番街をとめるというのは非常に現実には難しいと思うんですが、路地ですよ。路地にかなり車が入っていつているので、観光客が車を避けている。菓子屋横丁の周辺、時の鐘、あと養寿院さんの通り、ああいう小さなところから歩行者天国をやって、安心して街並みを散策できるようにしていただいて、それをだんだん増やしていくという形がいいんじゃないかなと思っております。路地ということは、川越の非常に魅力ある街並みのほかにまた路地がたくさんあるということで、そういうところも楽しんでもらいたい、そう思っております。

#### 《川越のブランド力、活気のある路地、老舗デパートとのタイアップ》

意見 先ほど市長さんおっしゃったんですけれども、川越というのは交通アクセスに大変恵まれていると思います。また埼玉県内でも中心的な場所にあるし、NHKで初の連ドラに埼玉において取り上げられたということがありまして、非常にブランド力

というのが私はあると思います。

先ほどの方も路地のことをおっしゃったんですけれども、例えば鎌倉なんかですと路地もきちっと整備されていたり、また元気なお店がたくさんあります。そこを女性が男性を引っ張っていくような歩き方をしているような姿が結構見受けられますし、やはり女性が好んで路地というのは入っていくこともあると思いますので、路地のほうを大事にさせていただいて、もっと活気のあるような路地もつくっていただければなと思っております。

それともう一点は、川越、それから熊谷もですけれども、老舗のデパートをお持ちですね。熊谷は八木橋さん、それから川越は丸広さん、やはり老舗のデパートがしっかりして活気があるところには、ある程度人もそこに来ると思いますので、できれば丸広さんともタイアップしていただけるようなことも考えていただいて、またそれを観光に結びつけていただけるといいんじゃないかなと思っています。

川合市長 路地の整備については、喜多院の周辺は具体的に何かプランがあったでしょうか。あれは都市計画のほうの分野でしたか。

私の記憶では、歴まちの補助金か何かを使って、立門前のところと喜多院の西側のあたり、それから参道、あの辺のところを数年のうちに整備するというような計画があると記憶しているのですが。

市長秘書 詳細まではわからないのですが、以前やっていた仕事の関係で、自分のわかる範囲でお答えさせていただきますと、かなり前から路地を何とか生かしたい、整備したいという話は市の中でもあって、例えば札の辻のすぐ近くにある蘭山記念美術館の裏から、まつり会館の駐車場の用地のほうに抜けられるようになっているのですよね。それはいわゆる民地と公共用地との出入りを自由にしたわけですがけれども、それも一つには路地裏を歩いていただこうという趣旨とうまく合致した事例ですね。それで、まつり会館の奥から養寿院のほうに抜けられる細い道があって、それも本当は、今パン屋さんがあるほう、菓子屋横丁のほうにも抜けられる可能性がある。そういうふうが一番街周辺は結構路地として整備できる可能性がある所はかなりあります。ですからもっと意図的に仕掛けて整備をしていきたいなという考えはあるのです。

ただ、ご存じのとおり、一方で建築基準法の制限とかいろいろありますので、後退整備とかいろいろ条件があって、路地そのものの概念を否定してしまうような、4メートルの確保など、現行法規との兼ね合いなどもありますので、一気に進めることはなかなか難しいという状況にあることも事実です。

ただ、一番街周辺のいろいろな動きがあります。建物の改築や店舗の改装、オーブ

ンなどに際しては、周辺の細街路の整備ができればいいなというふうに考えています。

川合市長 路地の整備も進めていきたいという考えはあります。伝建地区のどこへ行っても昔からの路地が結構残っているというところが多いですよ。そういうところは大変歩きやすいというか、歩いていて気持ちいいような路面に仕上がっていて、すごくいいなという印象を近江八幡などでも持ってきたのです。

意見 逆に路地を、歴史的な部分があったら、それを宣伝しようみたいな、そうするとかなり魅力あるんじゃないかなと思いますね。

川合市長 そうですね。七曲りのあたりなどは、近江八幡だったかな、やっぱり七曲りという地名があるのですよ。だから川越の七曲りも、最近、武家屋敷のところを全面的に市に頂戴しましたので、あそこもまた生かしながら七曲りを少し整備できないかなというようなことも考えております。

産業観光部長 路地につきましては、名称を公募いたしまして、何々通りという親しみやすい通りの名前にはしております。

意見 リピーターは、川越に次に来たら、Aコース、Bコース、Cコースみたいな、上級、中級ではないですが、そういう形で魅力をつけていくと楽しくなるんじゃないかなと思うんですよね。

#### 《川越のホテルの現状、宿泊観光客、老舗旅館・料亭、伝統芸能の復活》

意見 旅館組合の組合長をしています。川越のホテルの現状を言いますと、大体12、3のビジネスホテル、それから旅館がありまして、大体1,200からの座敷が使用される。組合としては、28が組合の中へ入っているんですが、あとは琵琶橋のほうにある類似ホテル、それから点在している類似ホテルが入っているということで、今そんな組合ですが、だんだんホテルが増えてくるかということ、逆に減っているのが今の状況なんです。市のほうでもいろんなイベント、今言われるような伝建地区の改良だとか、また街並みがどうだというような形でいろんな会合をしたと思うんです。そういう会合があると、やはりホテルのほうも埋まるんですが、毎日というわけにはいかないので、どうしても川越は稼働率からするとかなり落ちてしまうということがあります。

今、観光客の方が結構いらっしゃっているのですが、観光客の方が泊まるのは、まず微々たるものなんです。というのは近いから帰ってしまうというのがあるので、これはこれから旅行業者の方ともいろいろと相談しながらやることだと思うんですけれども、やはり川越に長くいてもらう、2日間でも3日間でもいてもらうようなイベ



ントというかシステムを組むといいのかなと思うんです。いろんなところを回遊するのもしかりだと思うのですが、割とさっと見て帰ってしまいます。

それから、よくバスで来て、ちょっと見て、一番街を見て温泉場へ行っちゃうというようなのが川越の今の観光なのかなという感じもしますので、そんな意味で長い時間逗留できるようなものを考えればいいかなと思います。これは旅行社の方々も、川越にはこういうのがあるんだよというのを売ってもらったり、我々も泊まる部分については一生懸命やっていきたいと思っておりますので、何かそういう意味でマッチングしたらいいかなというふうな感じもします。

それから、先ほども出ていましたが、今うちのほうも割烹旅館というか、そういう中でやってらっしゃるところもあるし、料亭でやっているところもありますが、やはりああいうところが生きられるような街になってもらいたいなと思うし、我々自身もそういうところを利用しなくちゃいけないなという感じもします。

市長さんからは前に、ちょっと芸者を加えたらどうだろうかという話も出ておりますけれども、芸者を育てるというのは大変なことなので、何かそういうふうな、昔の芸者というのは川越は難しいかもしれませんが、何かそのようなもので、それこそ川越は三味線の音が聞こえて、いい街だなというふうに、そういう人たちを育てながらやっていったほうがいいのかなと思いますので、ぜひそういう面ではまたご協力をいただきたいし、みんなでそんなことを考えながらやっていったらいいかなというふうに思いますので、我々もいろんな形でお客さんを喜ばす方法というか、喜んで帰っていただく方法を考えますので、ぜひ旅行業者の方も来ていただいて、うまく見るポイントをやっていただければ助かるかなと思います。

川合市長 今、結構あちこちで伝統というものを発展させるというか復活させるというか、八王子も確か商工会議所が力を入れてやっているのだと思うんですね。会津若松も友の会みたいなものをつくって全国各地からメンバーを集めて、会費を払ってもらって、そのかわり来たときには割安で伝統芸能が楽しめるというようなことをやっていたりしているみたいなので、川越もそういうようなものができれば、料亭さんにもプラスになるだろうし、あるいは旅館やホテルにもプラスになるのではないかというようなことも考えてはいるのですが、行政がそれをやってしまうわけにはいかないの、なかなか難しい面がありますね。

#### 《若者の流行》

意見 私はよくその辺を散歩するんですけど、この間散歩していたときに、前からずっと気になっていた歴史博物館という建物が成田山の前にあるんですが、単に民間

の人が歴史的なものを展示しているのかなと思って余り興味がなかったんですけど、たまたま時間があつたのでちょっと入ってみましたら、本当に川越城から見つかった、掘り出されたものが展示されていますとあって、その館長さんなのかわかりませんが、ものすごい親切に丁寧に説明してくださって、川越城も、「JIN - 仁」とかいふんなもので口ケ地になったり、それと今「江」でも徳川とちょっとゆかりがあつたりとかで全国でも知名度があつて、せつかくの徳川とのそういう関係や葵の紋とか、実際に使われたというものが、ほとんどの人が知らないで、ただそこにあるんじゃないかなと思うんですね。

だから館長さんに、川越城で展示するわけにはいかないのですかと聞いたら、場所がないということのお話でしたので、歴史の好きな方が見たら、ものすごく興奮するんじゃないかと思うようなものがたくさんあつて、ぜひ皆さんに、これは見てもらいたいなという思いで帰ってきましたので、そういうのは何とかならないのかなと思っているんです。

川合市長 あちらは個人がつくられているところですね。ですから行政は関与してないんですね。

意見 場所も狭いし、団体さんが来たら絶対入れないという場所ですし、でもみんなに見てもらいたい物がたくさんあつて、歴史の好きな人はやっぱり見たいんじゃないかな、すごくもったいないという感じがしたということと、あと、最近は若い女性の方を結構呼び込んで、うちはもともと仕事の人がある旅館ですとずっとやっていたんですけど、最近はそういうお客さんも少なくなつて、でも幸いなことに楽天さんとかじゃらんさんとかのサイトに出すようになって若い子さんが来るんですね。土曜日はよく入るんです。それで朝早く出られる若い女性のお客さんにどちらに行かれるのですかと聞くと、よく氷川神社に、縁結びの神様なので、そこに若い女性やカップルの方達はパワースポットとして、テレビでもよくやられているので、行かれる方がすごく多いんです。

そういうこともよく聞かれるので、そういうのもちょっとPRして、もっと若い子さんを呼んでいく。若い子ってすごい流行に敏感でそこに持っていくうまいセンスがあるので、そういう面からもっと川越という歴史の特性を生かして、若い子たちのセンスにも敏感に乗っていく、そんな街にもっとできないかなという思いがあるんですけど。

川合市長 最近、氷川神社はパワースポットとして名前が売れてるのだそうですね。

意見 確かにそうですね。

意見 私も行きました、朝早くから。縁結び玉をもらってきて、お客様に説明するのに、こんなのですよみたいな。8時からなんですけど、早くから、最近はちょっと下火になって、でも7時前ぐらいからたくさん来て、実際に20体ということでもらえないで帰る人がいるんです。ちょっとお気の毒なんですけれど。そういったこともPRになっているので。

川合市長 そうですね、参考になりますね。

#### 《着物の日を大きい波に、観光資源》

意見 今のお話もそうなんですけれども、さっきも出た芸子さんとか、もしそれが実現すればすごい集客ができる可能性がありますね。

そういう一つの流れからいうと、今、中林さんに観光協会から来ていただいているのですが、実はこの間、着物の日というのができたんです。現実的には毎月18日は着物の日ということで、着物で来てくれた方にはサービスをしよう。それは今市内にレンタルの着物屋さんが5店舗あるので、気軽に着物に着がえてもらおう。今現在協賛店は100を超えていますよね。ということはそれだけ期待されているということがあると思います。ですからこれをぜひ一つの大きい波にさせていただいて、着物ですと、着物の次は料亭ということも絡みますね。あとお茶ということにも絡みます。川越が持っている文化とか、そういったものにすべて絡むわけです。せっかく起きたこういう一つの流れをぜひ皆さんで大きくしていただければいいのかなというふうに思います。

川越というのは、ほかから比べると材料がいっぱいあり過ぎて、それをどういうふうに、一度でやめちゃうのではなくて続けていくことが大事ではないかなと思います。

この間、香取市の方とお話ししたんですが、やっぱり被害が非常に大きくて、やはり観光客が激減しているそうです。関東であってもそういうところがあるので、川越というのは非常に恵まれていると思うんです。だからそういうチャンスがあれば、そこにもっと積極的に持っていくという、そういう流れをぜひお願いしたいなと思います。

川合市長 香取市は去年、小江戸サミットで行きましたけれども、街中をちょうどいぐあいの掘割が流れていて、そこに船を浮かべて、お金を取って運航していたんですね。船にも乗らせてもらったけれども、両側が石組みになっていて、しかも岸の向こう側には商人の家がずっと並んでいて、柳が生えているという、すごくいい感じのところだったのですが、今回の地震でその石組みなどもかなり崩れてしまい、伊能忠

敬の住まい、旧家の屋根瓦が全部落ちてしまったという話を聞いてますね。地盤が余り良くないところですよ。だから今一生懸命修復しているのでしょうけれども、ちょっと時間がかかるということで、観光面ではすごいダメージを受けているという話です。

お江さんの効果というのはどうですか、風はほとんどないですか。

産業観光部長 特に直接的には川越というのはお江とは関係がなくて、喜多院に春日局の化粧の間があるということで、その辺からの切り口でいろいろ我々も観光客誘客に向けて取り組んだのですが、「つばさ」ほど効果は上がらなかったのかなと思っております。

宍戸副市長 喜多院には「家光誕生の間」という部屋がありますよね。私がいつもあいさつをするときには、お江さんが家光を産んだ部屋がありますよって。逆の言い方ですけど、だから来てくださいと言うようにしています。

一昨日も、全国ミニテニス交流の埼玉大会ということで、全国から来たものですから、そういう話をしたら、皆きょとんとしていたので、お江ですと言ったらわかっていただきました。ですから皆様方がそういう発想で言っていたら随分違うかなと思いますので、今度から、家光誕生の間は、お江さんが家光を産んだ間ということでどうでしょうかね。

意見 義経の、静御前というのは結構一般的ですけど、本当の正室は河越太郎の娘なんですよというのをよくお客さんには説明するんですけど。河越太郎の墓ということで、そのお墓が養寿院にありますので。

宍戸副市長 最後に一緒に亡くなったのは彼女ですよ。だから、あいさつの中ではいつもそういう考え方で言うようにしております。

意見 でも一般的には静ですよ。

川合市長 観光面以外でも構いませんので、ご意見とかご要望がございましたら。

#### 《観光客の滞在時間》

意見 今、川越市を訪れている観光客の方の滞在時間はどのくらいが多いのでしょうか。

産業観光部長 平成22年度の入込みの観光客の調査をしましたところ、観光時間が3時間程度から半日以内の観光客が約90%で、かなり短いといえますが、すぐに帰られるという形です。

#### 《観光バスの待機場所》

意見 3時間から半日ですね。大体日帰りで行くパターンは、半日もいればもう十分

だと思しますので、残念ですよね。

川越は西武線もあるし東上線もある、ＪＲも駅が３つもあります。鉄道で来られる方、また今度は関越自動車道は川越インター、圏央道は川島インター、あれが全部つながりますと成田のほうまで、ですから２時間あれば約２００キロ走るわけですから、山梨、長野、群馬、栃木、茨城が今度は客層ですよ。川越はどんどん開けると言うんですけれども、バスで来た場合の駐車場が、今はこの市役所の後ろに降ろすだけの場所は十分いいスペースがあって、市内でわかりやすいけれども、このバスをどこへ持っていくんですか。

産業観光部長 今は役所の裏でお客様に乗降していただいて、そのバスは初雁球場の脇、あるいはもう少し先のＪＡの直売所の向こうにバスの駐車場をつくりましたので、そこで待機していただき、時間になったらこちらにまた迎えに来てお客様を乗せてお帰りになる、そういう形で今進めています。

意見 トイレもあるし、スペースも十分ですよ。

観光課長 そういう形で今進めています。

#### 《団体客の食事場所》

意見 あと一つ問題は、団体さんの食事場所ですね。割と川越は食事するところがない、埼玉県全体がそうなんです。さいたま市の大宮鉄道博物館にしても、あれだけ立派なスペースがあっても食事するところがない。さいたま市内の一流ホテルに行くと食事しようとする、料金がなくて、団体さんではとてもじゃないけどだめなんです。今日旅館組合さんが来ておられるので、割と安いメニューをつくっていただければ、ちょっとした団体さん関係は増えると思います。

意見 今、駐車場ということで、私どもの駐車場には観光バスが多いときには２、３０台来るのですが、大体今滞留時間が１時間から２時間、昼食をとる方は３時間から４時間ということで、昼食を食べるとなると前後散策をしてということになります。

最近ちょっと多いなというのは、成田から中国人とか韓国人がいらっしゃいます。成田からこれから行くけどということで電話がありまして、大体途中でちょっと寄るとい形ですが、滞留時間が今１時間から２時間です。今言われたように昼食の場所があれば３、４時間はいると思うんです。ただ場所がないからということでほかへ行ってしまう。そういう目の前においしいものがあれば食べるのでしょけれども、適当な金額というか、１、０００円、２、０００円ぐらいで食べられる施設があると、随分滞留時間も変わってくるんじゃないかなと思います。

市民部長 ＪＡさんが直売所をつくったときに、皆さんが今おっしゃっているような

団体さんが、1,000円とかで食事ができるようなものを上につくってくれないかというふうなお話し合いをしたことはあるのです。その後ろに観光バスですとか市のほうが郊外型駐車場をつくるので、そんなお話をしたのですけれども、最終的にはうまくまとまらなかったのですね。市のほうとしても、今おっしゃっているような団体のお客様が1,000円ぐらいでお食事ができるような、それも50人ぐらいで食べられるような場所があったらいいなというのは当時考えていたのですが、残念ながらうまくいかなかったというところがございます。

そういうものをすることによって滞留時間が長くなるのでしたら、ぜひ考えていなくてはいけないと思いますよね。

意見 多分、川越で団体さんが食事をとれるようになれば、5時間ぐらいまでは、10時から3時ぐらいまでいて、それからまだ2時間かけて十分帰れる距離ですから、必ず増えると思うんです。ただ食事をするところがない。

意見 食事の件なんですけれども、最近韓国人のツアーが2回ばかり来まして、逆にどこで食べるんですかとちょっと聞いたら、郊外のバイキングなんですね。それが2回続いています。安くていっぱい食べられるんです。

意見 本当は団体はバイキングが一番いいですよ、手間暇かからず食事ができますから。

意見 そうなんですね。それも時間が迫っているんでということで、視察も早々にして、やはり大人数で、予約しているので、一緒に行かないと間に合わないというので。ちょっと遠いんですけど、そういうのが2件続けてあったので、ちょっと残念なんですね。

意見 それが市内のほうで食事していただければ、モアベターなんですけど。

#### 《昼食の料金設定》

意見 バスでということは30人から40人なんですね。どこか適当なところがありますかと言われるんですけど、市内でということになると料亭さんですから、今度は料金がちょっと合わないという、その辺の悩みがありますね。

意見 やっぱり1,500円か2,000円ちょっとぐらいであるとね。

意見 出して2,000円までだね。

川合市長 料亭さんでバイキング形式の和食にしてみらうとか、それはだめですか。

意見 いや、だから団体さんのバスが近くにまで行かなくちゃいけない。ずっと歩かせたら、これはまただめですよ。

川合市長 この近くの料亭だったら、歩ける範囲内ですけど。

意見 昔は結婚式をされたところもあるわけだから、そういうところで十分食事もできるんだけど。ああいうお座敷を使って安く、1,000 円ぐらいで食べられれば一番いいんだろうけど。うちは今、1,050 円で食事を出してますけど。でも 40 人やっとこぐらいでしょう。そうするとやはりバス 1 台ですよ。だからバスが 2 台で来ると、さあどうしようかという、あとなくなっちゃうし。

それから街の中で、そこにバスをとめて食べられるところは少ないので、中も歩いてもらうことも必要だと思うしね。だからやっぱりバスのプールは必要かもしれない。あっちにある、ここにもあるけれど、プールは必要かもしれないですね、どこの場所でも。

日光なんかは広いところがあって、我々も歩かされて、あのところまで上がっていくわけですから、ああいうところが必要なかもしれない。だから田んぼの中でいいんでしょうね。そこを歩いてくればいいわけだし。その間に博物館があって、そこのお堀を見たり、市役所を見て行けば帰れるわけですから、そういうポイントをつくってあげればいいのかもしいかな。あそこから下に来るまで船に乗らせたっていいかもしれない。

川合市長 目の前に水が流れてますしね。

意見 ただ食事は、昼一回だけなんです。早くて 11 時、遅いと 1 時になっちゃう。2 回しかできないですね。その間で利益を出すので、1,500 円ぐらいだと、とてもじゃないけど建物をつくってやる人はいないですよ。今現役であるものをうまく利用されるのが一番ベターですね。それが、川越市が思い切ってつくっちゃうとかですね。

#### 《小江戸蔵里の活用》

意見 そういう意味では小江戸蔵里が対応できると思いますね。あそこは建物自体も、蔵ですし、蔵の街とは離れているとはいえ、バスだったらそんなにかからないですから、あそこにそういう対応をしていただくといいかもしれないですね。

川合市長 比較的、喜多院には近いですしね。

意見 あそこだとどのくらい入るんですかね。かなり入るようですか。

川合市長 あそこのレストランは 100 人弱ぐらいですね。

意見 そうすると 2 台は入りますね。

意見 ただ、移動に関して、動線がちょっとありますので。観光客というのは意外と近くで食べて、ゆっくりその辺を見るという形が多いんですよ。だから食べるために移動となると、じゃあ遠くへ行っちゃおうということになっちゃうから、その辺の利便性という意味もあるんですね。でもそういう施設が何かないといけない。

意見 実際には街の中は無理でしょう、あそこにこれからつくるというのは。そうすると今あるところを使うしかないわけです。だから最初にあそこに着いてもらって、早お昼で食事をしてもらい、それから観光に行ってもらおうとか、そういうことになりま  
すね。

#### 《料亭の活用》

市民部長 逆に1,000円の弁当ではなくて、川越の特性を生かして料亭で昼食という  
のを売りに出してもいいですよ。

意見 それだったら2,000円でもいいと思いますね。

意見 2,500円でも大丈夫。

市民部長 食事そのものが川越観光の一つなんだと。川越で1,000円のお昼を食べる  
のではなくて、それはよそへ行ってもらって、100畳の座敷で食事をする、老舗の料  
亭で食事をする。安くできないのなら、それを売りにするという逆転の発想を。我々  
もどこかへ行くときに、例えばホテルのバイキングというだけで行ったりしますか  
ら、料亭での食事というのは受けるかもしれないですよ。

意見 私はお客さんにお泊まりいただいて、午前中はやっぱり川越の蔵造りの街並み  
に行くので、どこか食事するところでおすすめのところがありますかとよく聞かれま  
す。そのときはいつも、全部さつまいもが入っている食事を、1,800円ぐらいで1,000  
円じゃないんですけど、でも皆さんに、川越はさつまいもの産地というか売りにして  
ますので、全部さつまいもが入っていると、お味噌汁にも入っているし、さつまい  
ものコロッケもありますと、全部写真を撮っておいて説明すると皆さん、せっかく川  
越に来たのだからという感じで喜んで、実際に行っているかどうかわかりませけど、  
話をするだけでも喜んで電話番号を控えたりとかして、行かれたりするんですけど  
ね。

意見 焼きそばじゃあ、なかなかね。

川合市長 今、焼きそばはあちこちにありますね。

意見 何か近場でこれはという、どこでもそういうのを出してるとか。前に、うなぎ  
と芋と、あと何か入れて混ぜご飯みたいにして、それをどこでも出しているみたい  
なものをつくったらどうだという話もしたんだけど、なかなか材料とかいろんなこと  
でうまくいかない。それだったら1,000円ぐらいできちゃうような気もするんですけ  
どね。

意見 料亭で食べれば、2,000円でも皆さん納得すると思いますよ。逆にグレードを  
ちょっと上げていい客層を入れるという、そのほうが滞留時間もあるし、お酒も飲む



し、そういう意味では結構経済効果はプラスになると思いますね。その辺の格差というか差別化をする必要もこれからはあるんじゃないですかね。焼きそばとか安いものではなく、ちょっとグレードを上げていく。

#### 《観光客の現状》

意見 お金を持たないで観光に来る人はみんなコンビニだと思いますよ。コンビニ利用。お弁当は安いのあるし、おにぎりはあるし、サンドイッチはあるし、飲みものもある。ほかの県の温泉地でも観光地でもみんな言ってますよ。みんな地元のこういう旅館とか食事処を使ってくれればいいんだけど、全然来ない。みんなコンビニに立ち寄って、捨てていかれるのはごみ袋だけ。川越でもそういう同じようなことが今起こってるんだと思うんですけれども。

川合市長 デフレの時代だから安いほうがいいという、そういうことですかね。

意見 団体さんで移動するにも、大型バスでわっと押しかけるような団体さんは数少なくて、ほんとに小型バスで小グループ、20人前後ぐらいのグループさんですから、うまいものを企画していただければ、それなりの客は入ってくると思います。

#### 《観光客誘致の補助金制度、地元企業とのパッケージツアー、リピーターへの特典》

意見 今、昔からある地元の旅行会社さんのいろんな意見を聞く中で、私も全く同じ考え方をしているのですが、先ほど夜を充実させたほうがいいというご意見、いろんな立場のご意見の中で、滞在時間が短いということ、それでお金が落ちないということと、それから、夜を充実させるということは、それぞれ宿泊と夜の時間、飲食を絡めたツアーを考えるということだと思いますが、いわゆる私どもは、全国からのお客様を川越にご案内する機会が非常に多い、でも1回は来るんだけど、2回目はない。あと先ほどいろんな方がおっしゃっていた2時間、3時間ではせいぜいお昼を食べて、あるいは食べる場所がないから2時間だけ喜多院と菓子屋横丁を散策する、そのパターンがほとんどなんですね。

私どもも全国で支店がある中で、もうちょっと川越でゆっくりしたい、川越に泊まっておいしいものを食べたいという意見もあるのですが、なかなか交渉がしづらいということで、ひとつ意見として申し上げたいのは、例えば最近ですと輪島市さんが、いわゆる市のほうで、地方のほうからいらっしゃって、地元の旅館ですとか料亭あるいはバスを使った団体、個人でもいいのですが、そういったグループに対して補助金を出している事業があって、輪島市さんとかいろんな市町村でやっているのですが、今年あたりですと月岡温泉がそういうのをやっております、私ども団体旅行を扱っている店舗ですと、そういったものに対して市のほうから補助金が出ると、それが例

えば1万円でも2万円でも補助金が出ると非常にお客さんが乗りやすいんですね。そうするとその特典を使って何かをしようと、あわせて規模はともかくとして、例えば料亭でのお食事と地元のホテルなり旅館とのセットをつけていただくとか、観光協会さんのほうでそういうご紹介をしていただけると非常に売りやすいし、私どもがほかの全国のお客さんを川越にご案内するときに、どうしても今おっしゃったように全部ばらばらで一体化しないんですね、バスにしても、食事場所にしても、ホテルにしても。ほかの地域ではそういうのが市の観光協会さんとタイアップしていただいて、パッケージになったりセットで組めるようなシステムが大分できていますので、そうしていただけるとリピーターも増えますし、あとはリピーターを増やしていただくために、2回目、3回目ご来店いただいた方にはこういう特典をつけるとか、各お食事場所あるいはお土産屋さんにはこういったものを買っていただくと川越の地元の共通したお土産をくれますよという、そういったものにもし予算を多少考えていただけると、リピーターの数ももっと増えるんじゃないかと思います。

川合市長 今おっしゃられた、輪島市などでやっている補助金というのは、例えば宿泊費か何かのうち1人1万円ぐらいを補助するとか、そういう感じですか。

意見 1人ではなく、例えばバスで30人ぐらいで来ましたら、例えば地元のバスを使ってくれたらバス代の10%か3万円を補てんしますよですとか、年間で誘致のために予算組みをしていただくんですが、それでその条件を、ただ来るだけではだめですから、地元の何か食事場所を使ってくれるとか宿泊施設を使っただけとか、そういったものに関して補助金を出していくという制度です。結構そういう市町村が全国で最近多いものですから、地域振興のためにやっていただくという市町村が多くなっております。ですから私どもは逆に地方に行くとき、そういった特典がついていると、そういうのを優先して使わせていただいて、その部分がお客様に還元できて、お客様に喜んでいただけるということになります。

《観光アンケート調査、川越市の観光について検討する場の設置、学生旅行の受け入れ》

意見 私どもの支店は、実は川越で30年になるのですが、毎年川越市の観光アンケート調査というのをして、実はこれが出されています。22年度版を拝見させていただいているのですが、この分析というのは、皆さんが今おっしゃったようなことが的確に分析されて中に書かれております。

川越の観光をとると、実は私自身もびっくりしたのは、今回の議題であります、「また訪ねたい街・川越」ということで、この分析によると、確かりピーターの方が54%、初めての方が44.7%、列車で来ている方が48%ぐらい、車の方が37%ぐらいと結構

分析をしっかりとされています。実際問題、観光客から、こんなまちにして欲しいという内容が、ここにも書かれていらっしゃると思います。

今回、こういうタウンミーティングを開いていただいたというのは非常に意義あることだと思っているのですが、一つは、お願いというのでしょうか、できたらということ結構なんですけど、実はこの調査に基づいてしっかりした形で、川越の観光をどうするのだというような、組織というのでしょうか、これをつくっていただければというお願いです。先ほどおっしゃっていたような旅館さんの単価の問題とか駐車場の問題とか、実際にはこの中でお客様の声という形で触れられております。

実際にどうするのかという具体的なものを、施設は民間でやるのだとか、いろんな話になってくると思いますので、できたら短期、中期で、川越さんとどうするのだという、そういった専門的な委員会というか、そんなものをぜひ立ち上げていただければ、私ども業者としてもいろいろと意見がありますので、そういうお願いが一点です。

具体的に言うと、先ほどの方もおっしゃっていましたが、業者の立場からいうと、なるべく補助金を出して欲しいわけですが、これはなかなか行政さんのほうにも財政的なものがあるかということだと思っております。今少子化といえども、一点だけお願いしたいのは、実は学生の受け入れ関係です。川越は非常に歴史もありますし、文化もありますし、食べ物に関しても、芋を含めまして素材をたくさん持っておられるということで、この分析を見ても、ほとんどの方が埼玉県から来られているという傾向からすると、将来、再度の、リターナーと私ども申し上げているのですが、もう一回来ていただけるお客様、そういう育成という形でも学生のマーケットというのでしょうか、特に校外学習等で川越に来る、そういったものに対する受け入れとか、これは市のほうもほかの市町村に対してずっと言えると思いますので、具体的に言えばその辺はぜひ市としても何らかの形で取り上げていただきたい。それによって将来のお客様の育成にもなるという、そんなことを考えています。

今申し上げたように、せっかくここまでまとめ上げている調査でありますから、これをぜひ観光全体に生かすために何か委員会的なものをぜひつくっていただいて、その中で具体的に提言をしていくという組織をつくっていただければというお願いでございます。

観光課長 観光アンケート調査という報告書ですが、これは市のホームページからダウンロードできますので、観光課のところにありますので、ぜひダウンロードしてください。よろしくお願いいたします。

産業観光部長 もう一点ですが、川越市では観光振興計画を立てております。これは

平成 19 年度から 28 年度までの 10 年間の計画でありまして、この中で今までお話が出たような 80 の施策を検討、実施しております。我々サイドとしてはこの計画に基づいて事務を進めているというところで、ご理解をいただきたいと思います。

#### 《観光客の効果、観光客の満足度》

意見 ちょっと話は違うのですが、余り皆さんのように技術的なお話というのはできないのですが、普段から思っていることを言わせていただくと、不勉強かもしれませんが、どのくらいの観光客が川越に来て、どのくらいのお金を落として、それが川越市の収入に対してどれだけの重みを持っているか、市は我々の税金を使っているんなものに投資をしている、その税金がこういうふうにかかされて、例えば観光客誘致のために税金を使って観光客が増えれば、皆さんの生活はこういうふうになるんですよといったものを市民に公表していく、そういう案内というのはできないのでしょうか。

私がいつも思っているのは、私は石原町に住んでいまして、親が年寄りなものですから、私的な話で恐縮ですが、うちのお墓が長喜院なんですよ。余り歩けないので、車で長喜院まで連れて行きまして、いつも門の前で降ろして、脇から中央通りへ出るわけですけども、そうすると右も左も土・日は動けない。実際に我々は旅館業でもありませんし飲食業でもありませんから、一切観光客の恩恵には浴していないわけです、実際には。何で我々がこういうふうに、特に土・日に関しては不便な思いをしなければいけないんだと思っているんですね。ただし私も旅行業ですから、街中で観光客の人がいたり、団体の人がいたりすると道を譲るようにしているんですが、こう思っているのは私だけじゃないと思うんですよ。中心街で利害関係が一致している方は熱心だと思いますけれども、それ以外の方、たまたま用事があって街に来た、けども車じゃ入れない、何でこんな思いをしなければいけないのだと、一部の人のためにこんな思いをしなければいけないのだという方もかなりいるんじゃないかと思うんです。

そのためには、こういうふうにかかしたお金が使われている、我々の市民生活にとってこれだけプラスになっているんだということを公表していただければ、市民全員が、観光客というのは我々のためにもなるのだなと思って、今度は市民の観光客に対する態度も少しは変わると思うんですね。これは一番お金のかからないプロモーションではないかと思えます。ちょっと観光客邪魔だなあと思っても、ああどうぞどうぞとにこにこっとすれば、こういう小さなことによって、川越って案外いいところなんだなと思ってくれる人が多いんじゃないかなと思います。

ハードの面を整備するにはお金がかかりますけれども、そういう統計、資料という

ものを市民に公表していただくと、市民生活に対してこれだけ寄与している、だから観光客は重要なんですよというのを知らしめていただけるような方法をとっていただくと、もっと観光客は増えるんじゃないかと思います。

意見 その意見に全く賛成ですね。今、観光客が観光地を見るというのは、大体40%です。いわゆる社寺仏閣を見て、あと入場拝観で、満足度は4割だという形です。あとの6割はどんな形かという、そこに行って実際に交流ができた、場合によっては運転者さんが非常によかったとか、応対してくれた例えばレストランの人間がよかったとか、非常に温かみを感じたとか、そういうものが6割を占めるということです。

おっしゃっているように実は川越の観光の中心というのはほとんどが旧市街で、ほかの人たちというのは川越に対する観光が、本当に600万人も来ているのかというような形で、意識はそんなに高くないと思います。その割にはリピーターが多いというのは、そういう点では非常に素材がいいんだなというふうには感じるのですが、まさにおっしゃったようにあとの6割の満足度をどう高めるかということからすると、それはリピーター化するためには非常に重要なファクターだと思いますので、実際に観光客が来られたことによって川越市にはどういう役割があって、どういうメリットがあるのか、一般市民の方にどうあるのかというものはしっかりと市として出していく、宣伝をしていくというか、だから先ほどおっしゃっていたように、少し理解をするにしても、これによって私たちの市民生活を含めて確かに良くなっているのだというものがあれば、それはしっかりと打ち出すべきだというふうに思います。

ちなみにこの統計で見ると川越に落とすお金が全体で92億ですが、92億というのは低いのか高いのかと言われれば、決して数からすれば高い数字ではない。逆にいうと持ち出しのほうが多いのかなというふうにも思うのですが、それはしっかりと出すべきだというふうに思います。

川合市長 観光客が来ることによって市民にどの程度のメリットがあるのか、数字で計算した場合に、やや微妙な面もありそうな気がするのですが、何よりも活性化している、お金を余り使ってくれなくても、人がいるだけすごくいいという面もあると思うのです。

私が高校生のころは、一番街は人の流れが駅周辺に行ってしまうと、商店が全然入らないで、もちろん観光客もそのころ来てなかったですから、どうしようかという、そういうようなことを皆で悩んでいた時代です。そのころから比べると、菓子屋横丁も隔世の感がありますよ。そのころは人もほとんど歩いてなくて、昔ながらの駄菓子を売って売ってる店が幾つか並んでいるぐらいですよ、私が高校生のころは。だか

ら活気づけられているというそういう効果はかなり大きいのですが、それが数量化しにくい部分ですよね。

お金の面で計算すると、きっと持ち出しではないかと、そんな感じです。まだ厳密に計算してないのですが、道路整備であるとか、そういうものも計算に入れると、持ち出しになっているという面もあるかもしれませんね。でも、いずれにしても目に見える形で、こういう効果があるということを市民の皆さんに知っていただくということは、おっしゃられるとおり大事なことだと思いますので、それはぜひ努力してやっていきたいと思います。

《着地型旅行の商品づくり、行政とタイアップした地元業者だけの商品、ミシュランガイド》

意見 川越で60年以上旅行業をやっています。埼玉県旅行業協会の川越地区で、私が副会長をやっていのですが、以前から観光協会の事務局長といろんな話をしているのですけれども、実は来年は市制施行90周年ですが、それで国内観光活性化フォーラムという、いわゆる「JATA」という日本旅行業協会じゃなくて、我々ローカルエージェントが加盟している「ANTA」という、全国旅行業協会という組織があります。

この中で、国内観光活性化フォーラムというのが毎年行われていまして、来年が9回目で、これが今度関東へ来るんです。地方協議会が幾つか区分化されてまして、久々に関東へ来て、舞台が埼玉ではなく群馬なんですけど、そんな中でちょうど埼玉県としても、今着地型旅行というのがございますね。いわゆる地旅というものですが、地元のエージェントが地元の行政とタイアップして、地元の観光に貢献できるような商品づくりをして、そのランドオペレーター機能を地元の旅行業者がやることによって、全国の旅行業者、ANTAに加盟している企業が地元のご一行様という、社員旅行であるとかいろんなインセンティブ旅行、招待旅行とか、そういうものに送客するための商品づくりをしようというのがあるわけです。

埼玉はそれにはどこがいいかということ、やっぱ川越じゃないかという、川越が一番観光に適しているのだから、川越とどこかを入れたいわゆるパッケージツアーをつくって、それをANTAのネットを通じて全国のエージェントさんに販売をしてみよう。それについては我々がランドオペレーター機能をやって利益につなげる、そういうやり方というのがあるのですが、この前、中林理事ともお話ししたのが、そのためには行政側でしか手が下せないような川越の有名な、一般ではちょっと観光できないようなものがありますよね。

どんなものがあるかわからないのですが、そういった川越ならではの観光商品、し

かも、我々地元の業者にしか売れないような商品がつかれないかというのが、行政側のほうで何かタイアップをしていただいで、そういうことのやりとりを今、中林さんとしているのですが、我々ローカルエージェントは目の前の、とにかく食っていくために目の前の稼ぎをどうしても追わなきゃだめなので、数字を持っていかなきゃならないので、地元の方を旅行に斡旋して我々が稼ぐということじゃなくて、地元到他府県から送客して、地元利益を落としてもらうというやり方、仕組みづくりを今後はしていったらどうかということは今やっちはいるのですが、その点で何か見学地とか観光地とか入場拝観であるとか、そういったようなところで一般的に公開されていないようなものを、歴史的な街ですから、そういったものを特別に見せるとか、そういうようなものでタイアップをしていただければと思うんです。

それとこの前も言ったんですが、ミシュランガイドがありますよね。ミシュランガイドに何か登録してもよさそうなものというのは川越市内にはないんでしょうか。この前は長瀬がミシュランガイドに載りましたけれども、すごい観光客が来てるそうです。川越も観光の街だから、三つ星じゃなくてもいい、一つ星でも申請して通るような何か、見学地とか食事であるとか、そういったものがないかなと思うんです。といってもミシュランガイドってどうやって登録するのか私も知らないのですけれども。意見 お金がかかるんじゃないですか。

意見 金ですか、やっぱり。

観光課長 私も聞いた話ですが、内密だそうです。今回、長瀬が選ばれたのは、自然、そんなに開発されてないところなどを実際に見て、候補に上がったのが、飯能と長瀬だということを知りました。やはりそれは登録制とかそういうものではなくて、向こうの方がそういうところがいいんだ、見たいんだということで、それで来たそうです。県のほうを通じて来たらしいです。

#### 《川越を使った観光商品、観光商品を販売しやすい環境づくり》

意見 実は川越を何で知ったかというデータも出されているのですが、そのほとんどはテレビやインターネットで、ツアーで知ったというのは確か6%ということで、6%ということはほとんどつくってないということです。エージェントからするとそういう商品をつくってないということです。なぜかという、一つは売れない、それが定期的に販売が伸びていくほどの、残念ながら見込みが立たないということです。

意見 エースにもないんですか、川越を使った商品というのは。

意見 ええ。ただ埼玉県は、今、埼玉体験旅くらぶという、これには川越を取り上げさせていただいています。

実は私どもエージェントも、6%程度しかないということに関しては努力が多分足りないのだと思います。ただ、商品にするためにはいろんな形で、当然パンフレットの制作費や商品造成費用等含めましてお金がかかります。それから、先ほどの統計にも出ていましたが、リピーターと言われる方々も含んで、東京から来る方がほとんどで、ほかの地域から来るという方は、埼玉県のさいたま市から来る方が一番多かったなんていうぐらいで、簡単に来てしまうために商品的にはちょっとなりづらいという形です。ですから先ほどのお話のように、若干そういった部分で、造成費用も含めて、例えば補助ができるかとか、そういう話になってきてしまうと思うのです。ただ素材は非常にいいですから、それをエージェントがある程度販売しやすい状況にまずしていただきたい。

これは例えば川越市がやっているそれぞれの博物館関係とか、ここはやはりエージェントとしてある程度収益がないとなかなかできませんから、そういったものを例えば幾ばくかは考えていただくシステムとか、そういったものがあるかどうか。

あとは民間で、先ほど幾つかの施設が出ましたが、そういうところは各エージェントがそれぞれの契約を結ぶとか、そういう努力をしなきゃいけないと思うのですが、若干、官民一体というとおかしいですけども、本当に早期に結果を出していくためには、行政としてなかなかそこまで入っていけないというお話は十分わかるのですが、その辺で若干援護射撃というか、そういうことをすることによって川越の活性化、または観光客の誘致になるというものを知らせていただくと、私ども業者側からすれば非常にやりやすくなるという点があります。その辺もまたひとつご案内をいただきたいと思っています。

いずれにしても6%しかないということは、逆に言えば、これから伸びる可能性が実はあるのだということでもあると思いますので、そういったプランができることによって可能性は非常に高いということだと思います。その辺での援助というか援護射撃をいただければ商品造成もやりやすくなるというふうに思います。

産業観光部長 私どもとしては、先ほどお話がありました、発地型の観光から着地型の観光にできればシフトしていきたいということで、例えば産業観光とか文化観光、あるいは工場見学、そういったものの素材は川越市内にかなりございます。我々行政としても民間にお願いして、お客様として来ていただいて、文化を見ていただき、何とか滞在時間を伸ばして、お金を落としていただくような形にしていきたいと考えております。今はやりのニューツーリズムといったことも視野に入れながら、検討をしておりますので、またその節は皆様方のご協力をいただきたいと考えています。



## 《観光における交流・体験》

意見 まさにおっしゃっていただいたように、実は交流とか体験というのは一つのキーワードですが、なかなか業者のほうはそういった素材を探しづらい。それにはこういったものがあるのだということを、場合によっては行政のほうでしっかりと上に挙げていただいて、それをアピールしていただければ、また違う形になると思います。

## 《川越の知名度、関東エリアへの情報発信、川越の景気の現状》

意見 例えばなかなか売れないというのは、全国的なほかの地方とか、そういった都市から見ると、川越の知名度というのはどうなんでしょうか。私は、関西って知らないんですよ。

意見 実は関西の方は、逆に川越も知らないし秩父も知らないですよ。その方々に商品をつくってもらって売ってもらおうという、そのもともとの発想が無理なんだと思います。そこまではなかなか難しいんだと思います。

ただ、少なくともベッドタウンといわれる東京を含めまして千葉、神奈川、先ほどからおっしゃっている部分に関して、この方々が川越を知らないなんていうのもまだまだあると思います。逆に川越という名前を知っているけど、どんな内容だと、インターネットでは確かにわかりますが、その程度ぐらいたと思っています。その方々にいかにして来ていただくかということだと思います。なかなか地方の方々を引っ張ってきて、こういう商品をつくろうと、それは非常に難しい話です。

意見 何となく川越って、みんな知ってるんじゃないかという思い込みで、何で来ないかなと思ったんだけど、実はそんなに川越はまだ発信できてないというのが、最近ちょっと私は非常に感じるんですね。特に関東エリアにもう一度発信をし直したほうがいいのかな、まだまだというような感じですね。

川合市長 お話を元に戻しますが、確かそちらの会社はすしを握るのとか、あるいは模擬神前結婚ですか、そういうことを観光客にやってもらうというような企画をお持ちだったように記憶しているのですが、そちらのほうの売れ行き状況はどうか。

意見 あれは経済産業省のほうの補助金事業なんですけど、いわゆるハイエンドのお客さんでも川越は受け入れられる、そういうものをつくろうというのがそもそものコンセプトです。

実際のところ、あれは高いですよ、全部貸し切りでやろうということなので。だから1人あたりのツアー費はとて高くなるんですけど、そのときはそういうお客様も幾らでもいるよみたいな発想だったんですけど、やはりリーマンショックとかサブプライムとかが重なって、今はああいうものはいないんですけど、逆に言えば、あれを

もうちょっとリーズナブルな値段にする、現実的な値段にすれば、まだ可能性はあると思います。

あれはやはり外国人向けのもので、外国人も、東日本大震災の後はガタンと落ちて、うちのほうでもずっと統計をとっているのですが、まだ完全に回復は仕切っていないですね。これはどこの観光地もそうだと思うんですが、前年の観光客がまだ2割ぐらい戻っていないという感じはします。逆に言えば、そこだけ伸びしろはあるので、ちょっと頑張っていきたいと思っていますが。

あと、思うんですが、街の中には観光客の方がいらっしゃる、お店の方は、今年は良くない、料亭の方は、もっと良くない、あとは例えば鉄道も入込み数が下がっているとか、さらに博物館とか、そういうデータが一つに集約されると、現実に今川越というのはどういう状況なのかという、そこが知りたいですね。

ちなみに、「つばさ」のときはぐっと上がって、そして落ちて、さらに大震災で落ちて、今また戻って上がってきているけど、2年前に比べるとやっぱり落ちてるんですね。そこが今現状どうなのかというのが、できればデータがいろんなところから集まれば本当の姿が見えるような感じがするのですが、ぜひそういう仕組みをつくっていただきたい。観光協会は観光協会でデータを上げて、市からは博物館とかの入場者数を出して、あとは鉄道関係とかバス関係、それを合わせると本当の姿が見えるのではないかなと思います。

#### 《観光客のお土産、遠足の昼食場所》

意見 観光客の方が来てお土産を買うのですが、外国人というのは余り買わないんですね。団体の中国の方は結構両手に持っていくんですが、海外からの外国人というのは、ほんのちょっとしたもので、ほとんど買わないというぐらいですね。だから逆に一般観光客の方であれば結構お金を落とすので、そういう人たちにできるだけお金を落とすようにお願いして、滞留時間も長く、そういう施設をとということですね。

あと川越は、先ほど言われた学生なんですけど、学生さんが大勢来ているのですが、雨が降ったり何かすると行くところがないんですね。だからできればちょっと休憩というか、屋根があればビルの地下でお弁当を食べるとか、そういう施設もこれから大勢呼び込むためには必要かなというふうに思います。既存の空いているところに簡単につくるとか、そういうことも必要かなと思います。

意見 修学旅行でやってますね、班行動かなんかで。京都の班行動のプレ練習というので、模擬練習というんですか、まだ川越市内の学校は行っていませんが、県内のほかの地区の中学校とかは、遠足で電車を使って、川越にも1学年何百名っていっぱい

来てらっしゃると思うんですけど、そういうのをうまく活用できればいいですね。

川合市長 確かに集団で来てお昼を食べるときに、雨が降ってしまうと食べる場所がないと、そういう声は聞こえてきています。

意見 あれは弁当を持参しているのですか。

意見 持参をしたり、今の子は買ってますね。

意見 買ってるか、焼きそば食べたりとかしている。

穴戸副市長 日曜日かな、実は新宿の伊勢丹に行ったのですが、メンズコーナーの7階へ行ったら、すごいチタンのマグカップが置いてあって、それは下町のロケット技術でつくったそうです。

びっくりしたのは、その宇宙ロケットの展示の脇にあったのはコエドビールの漆黑でした。要は、そういうコラボがすごいと思ったのです。新宿の伊勢丹にチタンと下町工場とコエドビールの漆黑があるという、こういうコラボの力というのは我々では発想できません。

今もたくさんのいい意見が出されました。我々の一番足りない部分は、いろんな素材は持っているのですが、それを一緒に組み合わせる力、あるいは工夫する力、あるいは川越市外と合わせる力、そこら辺が実は我々の非常に弱いところで、今日はいいご意見を承りましたので、それらのいろんな意見を、先ほどの会議ではなくてもいろいろとお寄せいただいで、何かいいことを進めていきたいなというふうに思いますので、ひとつよろしくお願いしたいと思います。

川合市長 本日は、いろいろ参考になる貴重なご意見をたくさん頂戴しまして誠にありがとうございます。観光の面につきましては、行政とそれぞれの事業者さんがうまくかみ合って進めていかなければ発展しないだろうという、そういう分野だと思しますので、ぜひ今後とも皆様方のご協力を心よりお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。